



平成25年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月3日

上場会社名 スギホールディングス株式会社

上場取引所 東 名

コード番号 7649 URL <http://www.drug-sugi.co.jp/hd>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 榊田 直

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長

(氏名) 杉浦 昭子

TEL 0566-73-6300

四半期報告書提出予定日 平成24年7月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年2月期第1四半期の連結業績(平成24年3月1日～平成24年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第1四半期	84,254	6.2	4,627	△4.9	5,648	8.5	3,250	△25.2
24年2月期第1四半期	79,370	9.2	4,864	78.9	5,207	58.6	4,345	206.3

(注) 包括利益 25年2月期第1四半期 3,248百万円 (△24.8%) 24年2月期第1四半期 4,317百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第1四半期	51.34	—
24年2月期第1四半期	68.63	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年2月期第1四半期	160,398	95,313	59.4
24年2月期	154,369	93,205	60.4

(参考) 自己資本 25年2月期第1四半期 95,313百万円 24年2月期 93,205百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	—	7.00	—	18.00	25.00
25年2月期	—				
25年2月期(予想)		12.00	—	13.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年 2月期の連結業績予想(平成24年 3月 1日～平成25年 2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	170,000	3.6	9,700	△4.8	10,670	△0.6	6,010	△18.8	94.92
通期	340,000	3.9	18,000	4.6	20,000	4.4	11,500	0.6	181.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 有
- ② ①以外の会計方針の変更 ： 無
- ③ 会計上の見積りの変更 ： 無
- ④ 修正再表示 ： 無

（注）詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（その他）」に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年2月期1Q	63,330,838 株	24年2月期	63,330,838 株
② 期末自己株式数	25年2月期1Q	13,800 株	24年2月期	13,676 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年2月期1Q	63,317,110 株	24年2月期1Q	63,317,586 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要等を背景として持ち直しつつあるものの、夏場の電力不足、消費税論議に伴う消費マインドの低下や欧州問題に起因する金融市場の混乱など景気の下押しリスクは残り、改善基調を示しつつある個人消費の本格的な回復の妨げになっております。

薬局・ドラッグストア業界においては、前年の生活必需品・防災関連商品の震災特需の反動による販売減、花粉飛散量の減少による花粉関連商品の販売減、また、診療報酬改定に伴う薬価引き下げ等もあり、経営環境は厳しい状況で推移いたしました。更に、業界各社の積極的な出店と異業種による医薬品販売への参入により、競争環境は日毎に厳しくなっており、とりわけ業界における同質的な価格競争は激化の一途を辿っております。

このような状況下、当社グループは、「店舗の営業力・競争力強化」を目的として、子会社を営業特化会社として位置づけ、店舗運営及び競争対応について俊敏かつ的確な判断・決定が行えるよう、子会社が責任をもって営業を実行する体制作りに取り組んでまいりました。また、「更なる成長」を目的として、お客様の信頼及び店舗網を活かし、地域への浸透密度を高めた商勢圏の確立に向け、業態の明確化及び現行店舗の再編整備等にも取り組んでおります。更に、「グループシナジーを活かした経営推進体制の確立」に向けて、企画・管理・商品・店舗開発等の機能の当社への集中化を行っております。

以上の結果、売上高は 842億54百万円（前年同期比 6.2%増、48億83百万円増）、営業利益は 46億27百万円（同 4.9%減、2億36百万円減）、経常利益は 56億48百万円（同 8.5%増、4億40百万円増）、四半期純利益は 32億50百万円（同 25.2%減、10億94百万円減）となりました。また、店舗数に関しては、グループとして 16店舗を新規出店するとともに、4店舗の閉店を行い、第1四半期末におけるグループ店舗数は 833店舗（前期末比 12店舗増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①ファーマシー事業

ファーマシー事業は、調剤併設型ドラッグストアとして、お客様・患者様の立場に立ち、品揃えと売場づくりを見直してまいりました。また、物件審査能力向上による新店開発力強化と店舗群再編成に向けた積極的な改装とスクラップ&ビルドによる既存店強化を引き続き実施し、結果として、店舗数に関しては、新規出店を 15店舗、閉店を 4店舗行い、第1四半期末店舗数は 682店舗（前期末比 11店舗増）となりました。

当第1四半期連結累計期間においては、前年の震災特需の反動による販売減及び花粉関連商品の販売減があったものの、お客様・患者様ニーズを一層反映させた調剤室の改装、品揃え、売場づくりに注力した結果、処方箋調剤、ビューティケア、食品などの販売が堅調に推移しました。

以上の結果、売上高は 659億38百万円（前年同期比 6.9%増、42億75百万円増）、売上総利益は 189億4百万円（同 6.7%増、11億84百万円増）、販売費及び一般管理費は 148億2百万円（同 8.6%増、11億66百万円増）、営業利益は 41億2百万円（同 0.4%増、17百万円増）となりました。

②ドラッグ事業

ドラッグ事業は、更なる成長を図るため、ファーマシー事業と一層の棲み分けを行うべく業態の見直しを行い、店舗形態・品揃え・売場づくり・オペレーションなどの検討・見直しに着手いたしました。新規出店に関しては、子会社間の店舗群の再編成に伴い、新規出店を 1店舗実施し、第1四半期末店舗数は 151店舗（前期末比 1店舗増）となりました。

また、一般用医薬品扱い店舗の拡大に取り組むとともに、間接部門の人員・組織体制の見直し、パート社員の積極的活用による店舗運営体制の見直し等、固定費低減策にも引き続き取り組みました。

当第1四半期連結累計期間においては、前年の震災特需の反動があり厳しい営業環境でしたが、一般用医薬品扱い店舗の拡大及び積極的な販売促進活動の結果、ヘルスケア及び食品などの販売は堅調に推移しました。

以上の結果、売上高は 183億17百万円（前年同期比 3.4%増、6億4百万円増）、売上総利益は 37億79百万円（同 3.2%減、1億26百万円減）、販売費及び一般管理費は 29億54百万円（同 5.0%増、1億41百万円増）、営業利益は 8億24百万円（同 24.5%減、2億67百万円減）となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

（資産、負債及び純資産の状況）

総資産は、商品の増加及び有価証券の増加等により、1,603億98百万円（前連結会計年度末に比べて 60億28百万円増加）となりました。負債は、買掛金の増加等により、650億85百万円（同 39億20百万円増加）となりました。純資産は、利益剰余金の増加等により、953億13百万円（同 21億8百万円増加）となり、自己資本比率は 59.4%（前連結会計年度末比 1.0%減）となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年4月10日に公表いたしました連結業績予想の修正は行っておりません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

記載すべき重要な事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（有形固定資産の減価償却方法の変更）

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。なお、この変更による損益への影響は軽微であります。

（追加情報）

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	37,556	37,397
売掛金	7,938	8,915
有価証券	12,683	14,199
商品	36,798	39,934
その他	8,194	7,949
貸倒引当金	△0	△2
流動資産合計	103,171	108,393
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	19,347	19,979
その他（純額）	9,621	9,982
有形固定資産合計	28,968	29,962
無形固定資産	2,343	2,289
投資その他の資産		
差入保証金	14,397	14,428
その他	6,107	5,941
貸倒引当金	△618	△617
投資その他の資産合計	19,886	19,752
固定資産合計	51,198	52,004
資産合計	154,369	160,398

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	36,077	42,846
未払法人税等	3,700	985
賞与引当金	1,017	1,034
その他	13,586	13,298
流動負債合計	54,382	58,165
固定負債		
退職給付引当金	2,328	2,416
資産除去債務	2,638	2,691
その他	1,815	1,811
固定負債合計	6,782	6,919
負債合計	61,164	65,085
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,434	15,434
資本剰余金	24,632	24,632
利益剰余金	53,160	55,271
自己株式	△34	△34
株主資本合計	93,193	95,303
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11	9
その他の包括利益累計額合計	11	9
純資産合計	93,205	95,313
負債純資産合計	154,369	160,398

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年5月31日)
売上高	79,370	84,254
売上原価	57,745	61,570
売上総利益	21,625	22,683
販売費及び一般管理費	16,761	18,056
営業利益	4,864	4,627
営業外収益		
有価証券評価益	—	516
受取賃貸料	323	302
受取手数料	187	205
その他	376	290
営業外収益合計	887	1,314
営業外費用		
有価証券評価損	237	—
賃貸収入原価	270	249
その他	36	43
営業外費用合計	543	293
経常利益	5,207	5,648
特別利益		
子会社株式売却益	909	—
還付消費税等	1,432	—
その他	121	—
特別利益合計	2,463	—
特別損失		
減損損失	312	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,182	—
その他	50	—
特別損失合計	1,545	—
税金等調整前四半期純利益	6,125	5,648
法人税、住民税及び事業税	1,497	1,644
過年度法人税等	580	—
法人税等調整額	△297	753
法人税等合計	1,780	2,398
少数株主損益調整前四半期純利益	4,345	3,250
四半期純利益	4,345	3,250

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,345	3,250
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△28	△2
その他の包括利益合計	△28	△2
四半期包括利益	4,317	3,248
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,317	3,248

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年3月1日 至平成23年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ファーマシー 事業	ドラッグ 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	61,657	17,712	79,370	—	79,370
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5	—	5	△5	—
計	61,662	17,712	79,375	△5	79,370
セグメント利益	4,085	1,092	5,177	△313	4,864

(注) 1. セグメント利益の調整額△313百万円には、セグメント間取引消去7百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△320百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当社グループは、キャッシュ・フローを生み出す最小単位として店舗を基本単位とし、賃貸資産及び遊休資産については物件単位ごとにグルーピングしております。

営業活動から生ずる損益が継続してマイナスである資産グループについては、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額312百万円を減損損失として特別損失に計上いたしました。

報告セグメントごとの計上額は、「ファーマシー事業」で252百万円、「ドラッグ事業」で15百万円となっております。また、報告セグメントに帰属しない賃貸資産において45百万円計上しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ファーマシー 事業	ドラッグ 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	65,936	18,317	84,254	—	84,254
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	—	1	△1	—
計	65,938	18,317	84,255	△1	84,254
セグメント利益	4,102	824	4,927	△299	4,627

(注) 1. セグメント利益の調整額△299百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。